

長崎市取り組み事例

新技術を活用した維持管理

令和8年10月6日
長崎県 長崎市

維持管理の課題

【主な管理施設】

- 道路
 - 市道 1,891,377m
 - 橋梁 933橋
 - トンネル 2,409m
- 河川
 - 準用河川 34,249m
 - 普通河川 1,363,000m
 - 都市下水路 26,838m
- 公園
 - 都市公園 515箇所 (413.26ha)
 - その他公園 301箇所 (243.05ha)



【維持管理の現状】

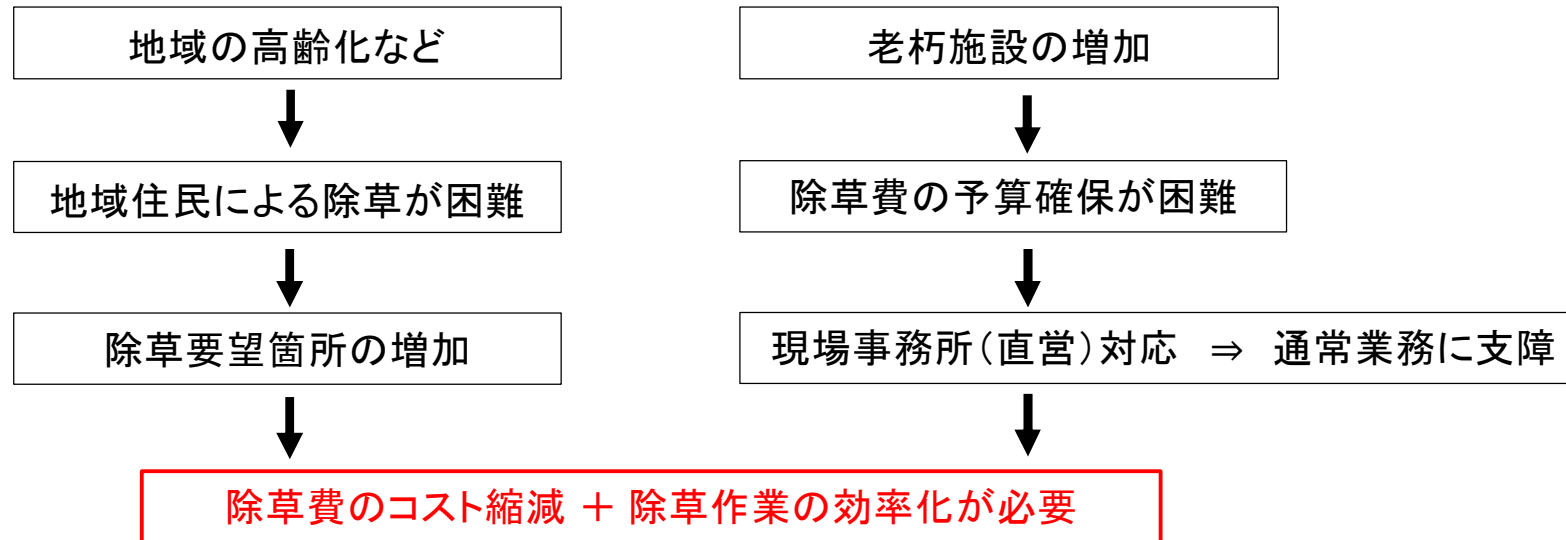
- ・老朽施設の増大
- ・物価高騰による維持管理費の増大
- ・予算確保困難
- ・樹木の老木化
- ・異常気象
- ・職員の技術継承困難
- ・地域清掃や除草の縮小
- ・市民ニーズの多様化 など



適切な維持管理が難しい

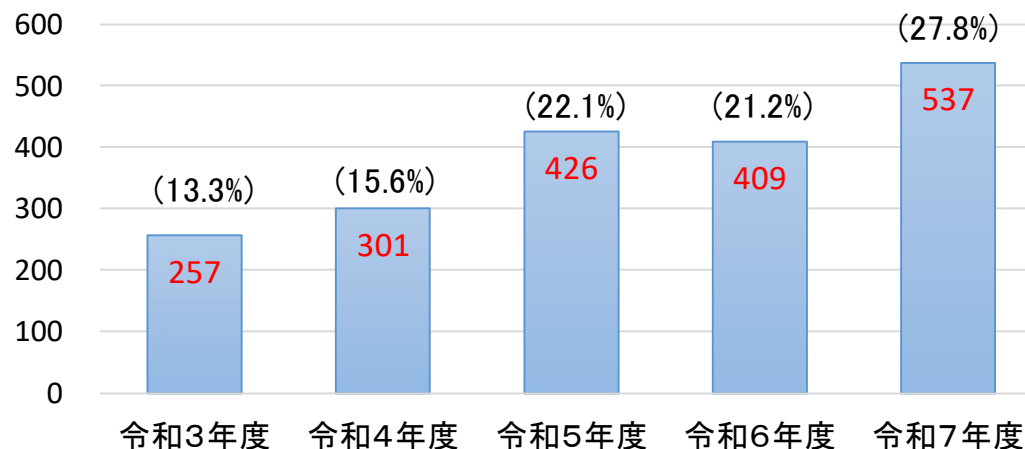
維持管理の課題(除草)

【除草の現状と課題】



【除草に関する住民要望の推移】

過去5年の除草要望件数



※()は全要望件数に占める除草要望件数の割合

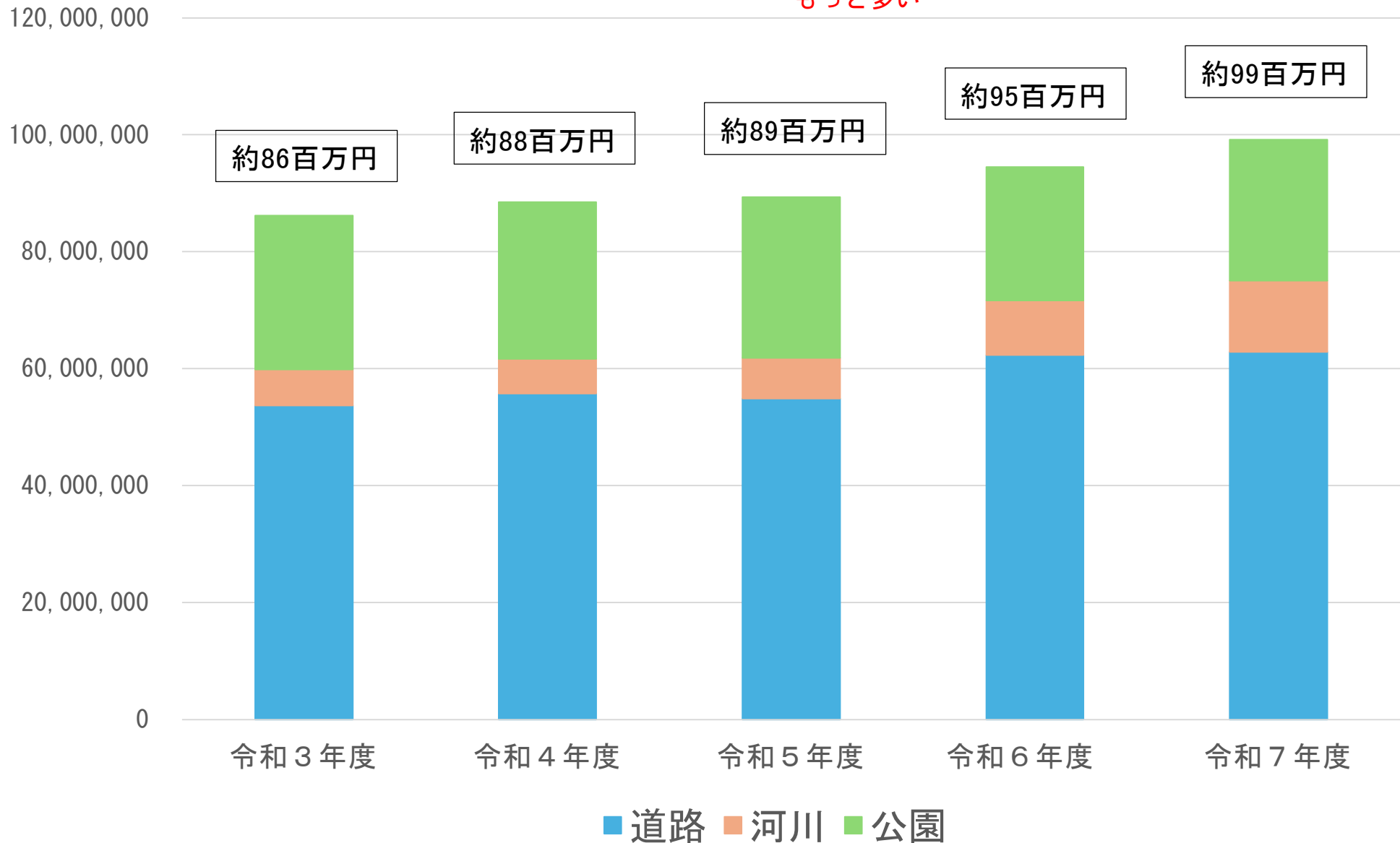
- ・5年間で除草の要望件数が2倍以上
- ・住民からの要望件数の中でも除草が約3割を占めるようになっている

除草委託費

年間約1億円の除草委託費

※除草委託以外に「直営による除草」や「施設清掃委託の中で実施している除草」もあり、実質的な除草経費はもっと多い

(単位：円)



除草の新たな取り組み

【インフラメンテナンス国民会議「九州フォーラム」マッチングイベント】

■令和8年2月6日（金） 第5回マッチングイベント

■テーマ

- ①従来技術より安価で手間のかからない除草技術（DIY可能技術含む）、または安価で効果が高く、人体や農地への影響が小さい除草剤
- ②従来技術より安価で施工可能な路面補修技術（DIY可能技術含む）と補修材
- ③従来技術より安価で実施できる路面点検技術と、点検結果から対策優先度を導き出せるシステム



テーマ①の提案技術 ⇒ 薬剤を用いた除草技術
（※NETIS登録活用促進技術）



技術の活用を検討



令和8年7月～

試験的に実施
（効果等の検証中）

- ・地元への説明と理解
- ・散布箇所の周知
- ・散布後の通行規制



薬剤散布状況

除草の新たな取り組み

【試験施行の状況】

直営による除草
(過去の実績)

除草面積: 約5千m²

施行体制: 12人

施行日数: 3日

(施行人数 計36人)

新技術の活用状況
(試験施行)

散布面積: 約5千m²

施行体制: 8人

施行日数: 2日

(施行人数 計16人)

比較

施行人員で20人、施行日数で1日の縮減

【今後の検証】

- ・除草効果を経過観察
- ・薬剤費も含めたコスト比較
- ・周辺への影響
- ・地元の反応 など

活用の可否
判断



薬剤散布前



薬剤散布 2週間後

その他の取り組み

【インフラメンテナンス国民会議「九州フォーラム」マッチングイベント】

■ 令和7年2月7日(金) 第4回マッチングイベント

■ テーマ

① 小規模(橋長15.0m未満程度)橋梁にも効果的な点検・診断技術等

② 小規模橋梁における橋梁補修方法(DIY施工も可能など)、材料等



技術活用に向けた試験施行

● パノラマカメラを用いた橋梁の点検システム

【R8試験施行により効果検証予定】

① 点検の省力化 …… パノラマ画像を撮影しシステム登録

② 調書作成の効率化 …… システム上で画像に損傷をタグ付けし、調書を作成・出力

【その他期待できる効果】

橋梁全体が画像として残るため、
前回点検時との比較が可能



撮影器具



パノラマ画像撮影状況



システム画面

ご清聴ありがとうございました

長崎県 長崎市